

チェックシート  
折板葺（ハゼ溝法）

中間検査

責任施工業者				
工事名				
区分	チェックポイント	良	否	改善方法
材 料	許容曲げモーメント及び許容曲げ応力度を越えないで、且つそのたわみがスパンの1/300(片持ち梁にあつては1/200)を超えないように設計してあるか。			
	板厚・素材等は、仕様書通りのものが使用されているか。			
	構成部材及び構成部品は、「鋼板製屋根構法標準」で定める折板断面積に応じたものが使用されているか。			
下 地 の 確 認	受け梁の中断に対する適切な処置がされているか。			
	梁上面の勾配が屋根勾配と等しくなっているか。			
	屋根面の障害物に対する適切な梁が取り付けられているか。			
	雨押え等の立ち上げをする場合の壁面の部材は取り付けられているか。			
	けらばをはね出す場合に下面に支持金物があるか。			
裏 貼 り (断熱材)	断熱材の使用は指定してあるか。又、指定のものと同等以上の効果のあるものが使用されているか。			
墨 出 し	割付け、墨出しは、施工図通りであるか。			
タイトフレーム の 取 り 付 け	溶接後は、溶接部分の割れ、スラグ巻き込み融合不良、アンダーカット等の確認は行われているか。			
	溶接後に、スラグを除去し、防錆処理がされているか。			
	その他の方法で取り付ける場合は、「鋼板製屋根溝法標準」で定める施工方法となっているか。			
施 工	墨出し、割付け、仮葺き、本締めの手順となっているか。			
	緊結ボルトは、固定ボルト間を等間隔に600mm前後に割り付け締め付けられているか。			
シーリング	重ね部分にシーリングを施してあるか。			
適 用				

検 査 日	年 月 日	再 検 査 日	年 月 日
-------	-------	---------	-------

上記項目に従い検査を行ったことを認めます。

年 月 日

株式会社 全日本建築板金保証センター北海道支部長 殿

支部長	委員長		事務局	検 査 員 氏 名

チェックシート  
折板葺（ハゼ溝法）

完 成 検 査

責任施工業者			
工 事 名			
区 分	チェックポイント	良	否 改善方法
仕 上 げ 施 工	折板のハゼ締め作業は、工具や機械を使用して滑らかに、且つ、強く締め付けが行われているか。		
	けらば部分には、規定の変形防止材が取り付けられているか。		
棟 納 め	棟・水上部分には、エプロンがなじみよく取り付けられているか。		
	棟納めのための取付け金具が、折板の山部に取り付けられていて、その金具に棟包み板がビス止めされているか。		
	継手部分には、120mm以上の重ねがしてあるか。又、重ねの中に二重のシールが施してあるか。		
水 上 の 雨 押 え	水上面戸には、充分なシールが施してあるか。		
	一方は棟包みに準じて折板に取り付け、他端は立上がり寸法120mm以上となっているか。		
屋 根 材 方 向 の 雨 押 え	水上雨押えに準じて、なじみよく折板に重ね合わせているか。		
シ ー リ ン グ	各部分の必要な箇所へのシールは出来ているか。		
そ の 他	使用メーカーの標準施工法通りに施工されているか。		
	屋根材の表面に傷はないか。又、タッチアップ等の補修がされているか。		
	屋根の上や関係する場所の清掃は行われているか。		
適 用			

検 査 日	年 月 日	再 検 査 日	年 月 日
-------	-------	---------	-------

上記項目に従い検査を行ったことを認めます。

年 月 日

株式会社 全日本建築板金保証センター北海道支部長 殿

支部長	委員長		事務局	検 査 員 氏 名
				検 査 員 資 格 番 号